

転倒転落防止情報⑩

情報共有ファイルの運用について

以前お知らせした情報共有ファイルですが、アンケートの結果、2割ほどの部署でしか活用されていませんでした。理由は、運用方法が分からない、必要時は看護師が付き添っているから、などありましたが、その後も外来や検査室での情報不足による転倒が起きているのも事実です。一つの情報共有ツールとして以下のような流れを参考に使用してみてください。

<病棟での使用例>

- ①検査の準備の際に介助や注意が必要な患者さんの用紙をファイルに挟む（目安としてはリスクⅢの方などが対象）
- ②ファイルを使用している患者さんを搬送する人は、出棟先で転倒のリスクがあることなど伝えるべき注意事項を出棟先の職員に伝える（渡してもよい）
- ③共有ファイルは一時的に渡してもよいが、帰りは回収して帰る

この患者さんは転倒するかもしれないな。気をつけなきゃ

ちゃんと転倒の危険性を伝えなきゃ



<情報共有ファイル>

